

図書館かがわ

香川県立図書館報 第107号

発行日 2015.4.1

Library Kagawa

ISSN 1344-5464



— 県立図書館20周年記念事業 —

阿刀田高講演会「読書はおいしいぞ」

県立図書館が現在の林町に移転して20年になるのを記念して、直木賞作家の阿刀田高氏を講師にお招きし、「読書はおいしいぞ」と題した講演会を1月18日（日）にアルファあなぶきホールにおいて開催しました。

900名ほどの聴衆を前に「読書が素晴らしいということは、馬鹿らしいほど当たり前」と独特の軽快な口調で講演は始まりました。

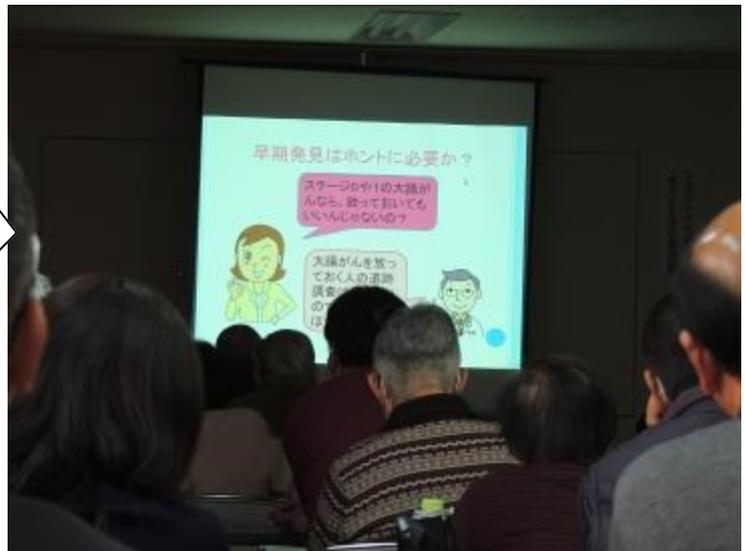
ご自身の幼少の頃の「言葉遊び」や読書の経験も織り交ぜながら「読書習慣は身に付ければ、読書保険に入ったようなもので、将来必ず役に立つ」「人・本・建物図書館の三本柱であるが、中でも「人」が一番大切。図書館は「職員と利用者」で育つ」など、読書の楽しさや大切さについて話され、最後に、「日本で一番小さい香川を読書の力によって、一番大きな中身のある県にしていだきたい」と講演を結ばれました。



講師の鈴鹿伊智雄氏は、消化器・一般外科の先生です。ユーモアあふれる語り口に引き込まれ、1時間半の講座はあっという間に過ぎました。

パワーポイントを使って、わかりやすく解説していただきました。

「がんになったら」「検査結果が悪かったら」とか口に出してしまうと悪いことが現実になってしまうかも・・・と思い、検診を避けようとする、日本人の「言霊」信仰のお話には、「なるほど」とうなずいている参加者がいました。



「健やか生活応援講座」を開催しました。

昨年12月に設置した「健やか生活応援コーナー」を記念して、平成27年2月22日に、平成26年度第1回「健やか生活応援講座」を当館2階研修室で開催しました。

講師は香川県立中央病院院長補佐の鈴鹿伊智雄先生で、『「がん」はこわくない ～がん検診と早期発見の重要性～』と題して、早期にがんを発見し、治療することの重要性について、大腸がんを中心に具体的なデータに基づいた、分かりやすい例示をまじえながら説明されました。

参加者は身を乗り出すように講師の話に聞き入り、講師の説明終了後は次々と手を挙げて熱心に質問をしていました。「講座を受講する前に抱いていた疑問が解消した。」と言って、会場を去って行った参加者がとても印象的でした。

この本オススメです！

～ 金丸座180年 ～

讃岐路に春を告げる風物詩となった「四国こんぴら歌舞伎大芝居」。昭和60年（1985年）の第1回目の公演以来、毎年開催され、今年で31回をむかえます。今では全国から歌舞伎ファンが訪れるようになりました。その「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が行われる金丸座は、今年180年をむかえます。

「旧金毘羅大芝居（通称：金丸座）」は、天保6年（1835年）に建てられた江戸時代末期の劇場建築で、現存する日本最古の芝居小屋です。この芝居小屋は、金毘羅大芝居の名で地元民に親しまれていましたが、所有者の変遷にともなって、稲荷座、千歳座と名称をかえ、明治35年（1902年）に金丸座となりました。所在地も、現在の愛宕山の中腹から約300メートル離れた人家の密集地にありました。

昭和45年（1970年）に、学術的かつ文化的価値が認められ、国の重要文化財に指定されました。そして、47年（1972年）から、解体・移築され、51年（1976年）に復元されました。さらに、平成15年（2003年）の「平成の大改修」では、古典的な宙乗り装置「かけすじ」と、天井に竹を格子状に組み荒縄でしめ、紙吹雪を降らせたりちょうちんをつるすことができる「ブドウ棚」の2つの仕掛けが復元され、より江戸時代の情緒ある芝居小屋へと変貌を遂げました。

今回は金丸座に関する本を紹介します。

演目やその解説、役者の紹介などが載った「すじがき」です。

全国から選り抜かれた23の木造建築のひとつに金丸座が選ばれ、美しい写真とともに紹介されています。

昭和28年の四国新聞の連載を補筆したもので、金丸座の歴史がわかります。

中村吉右衛門と著者の対談「こんぴら歌舞伎大芝居讃」がのっています。



左上から時計回りに

「第三十回記念四国こんぴら歌舞伎大芝居」 松竹／編・刊 2014年

「重要文化財 旧金毘羅大芝居修理工事報告書」 文化財建造物保存技術協会／編
香川県琴平町／刊 1976年

「日本木造遺産」 藤森照信、藤塚光政／著 世界文化社／刊 2014年

「花とフォルムと」 中村哲郎／著 朝日新聞出版／刊 2011年

「こんぴら歌舞伎を行く<私家版>」 内田深雪／著・刊 2004年

「現存最古の劇場金丸座」 草薙金四郎／著 香川県教科図書／刊 1955年

「これ何なー？」～昨年12月に新設されたデイジー資料コーナーをご紹介します。



デイジー資料コーナーは閲覧室のAV資料コーナーの近くにあります。このコーナーには、見た目はCDと同じに見えるものがずらりと並んでいます。「これは何？CDとはどう違うの？」と不思議に思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

★「デイジー資料」って何？

「デイジー資料」は、活字による読書が困難な方のための録音図書です。「DAISY (Digital Accessible Information System)」という国際標準規格のデジタルデータの圧縮・編集方式を使用して作成されています。



デイジー資料は、見た目はCDと同じですが、1冊の図書の内容が1枚のCDに収まっているのが特徴です。目次や読みたい章、節、ページなどヘジャンプできる便利な機能もあります。

当館では、音声のみを録音した「音声デイジー」と、音声と一しょに画像や文章が表示される「マルチメディアデイジー」を所蔵しています。

どちらも専用の再生機かパソコンに専用ソフトをインストールすることで再生できます。



写真の左側は音声デイジー再生機「プレクストーク」、右側はマルチメディアデイジー再生機「よむべえスマイル」です。館内で視聴する場合にご利用になれます。

★デイジー資料を利用するには？

デイジー資料は、活字による読書が困難な方のために著作権法第37条第3項に基づいて作成された資料です。ご利用になれる方は、県内に居住の方などで視覚に障害がある方のほか、次のような障害の方となります。

- ・聴覚障害
- ・肢体障害
- ・精神障害
- ・知的障害
- ・内部障害
- ・発達障害
- ・学習障害
- ・いわゆる「寝たきり」の状態
- ・一過性の障害
- ・入院患者

デイジー資料を利用される方は、事前の登録が必要です。代理の方による登録も可能です。代理の方は、身分証明書をご提示ください。ご利用についての詳細はお問い合わせください。

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19 (香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>